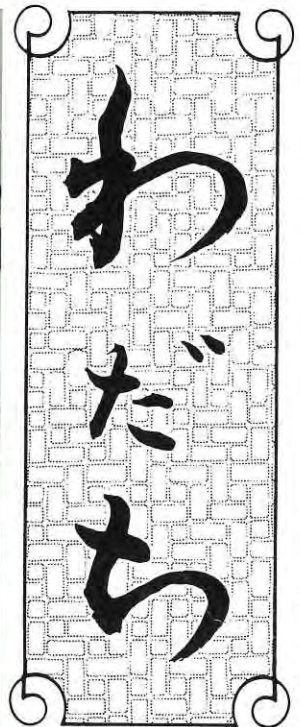




29年3月 市長との懇談会



30年1月  
 特定非営利活動法人  
 加茂市手をつなぐ育成会

# 今思っていること

特定非営利活動法人加茂市手をつなぐ育成会

理事長 皆川 栄子



明けましておめでとうございま  
 す。

成年の幕開けです。

昨年には障がい者・保護者にとつてちよつと気持ちが暗くなるニュースが聞かれた年でありました。本来なら絶対にあつてはならない虐待であつたり、バスの中に放置され死に至つた事故であつたり、A型事業所の閉鎖（解雇）であつたりと本人が自分の思いをなかなか言えないがために起こつた痛ましい出来事でした。虐待防止法、差別解消法等、法の整備はできたのに・・・と思わずにはいられません。当法人が運営する「雪椿の舎」でも「危機管理」を理事、職員とも日々肝に銘じ、他事業所での出来事と受け止めず、常に意識をもつていかなければと思ひます。「雪椿の舎」利用を希望する人たちにとって安心して安全なところでありたいと思ひます。

又昨今、意志決定支援という言葉も良く聞かれます。障害の軽い、重いはともかく、本人が自分

で自分のことを決めたい。言葉として発することができなくても、日常生活の中でのささいな事から意思決定の経験の場を増やしていく。まさしくそれを支援する支援者であり保護者でありたいと思ひます。本人の気持ちを汲み取りながら、利用計画が作成され、事業所においては、サービスマニュアルが作成されるべきと思ひつています。難しいかも知れませんが本人も経験、支援者も経験から学ぶことと思ひます。

この二点が当法人の理念障がいのある本人が自分らしくこの加茂の街で生き生きと生活することができるよう支援します。この理念が実現するため大きな柱だと思ひつています。

又、執行部全員、今年こそ会員の皆さん、まわりから支援してくださる賛助会員の方々、行政の大きな力を借りながら一つの方向性が提示されるよう成年にあやかり走り回る年にしたいと思ひつています。

# 新施設建設について

## 施設建設促進委員会

関 龍雄

施設建設促進委員会では、平成二九年春以来、西加茂における金融施設跡の取得を加茂市に依頼して、その対応を見守ってきましたが、市長のご努力にもかかわらず、残念ながら交渉がまとまらずこの度取得をあきらめることになりました。市長も大変ご心配されて、検討をされた結果、市有の土地の中で消防署裏の現在加茂病院職員駐車場として使われている土地に、新たに建物を建設する案が提示されました。

委員会として検討した結果、現在の「雪椿の舎」に近いこともあり場所的には問題ないと思います。ただ、加茂病院の建設が31年度となることなどから施設建設は32年度以降になることも考えられます。ただ建設費には国県の補助金も期待できますので、委員会として、施設の種類、内容、規模などを検討し、市の担当部門と相談して行くことにしています。



妙高方面へバス旅行へ



新しく出来た育成会の  
グッズを着て即売会

### わくわくクラブをご紹介します

特定非営利活動法人わくわくクラブ理事長

藤田 和子

「夏休みや放課後にもっと友達と過ごしたい、預かってもらう場がほしい。」加茂市内の特別支援学校、支援学級の子どもたちや保護者の願いで、特定非営利活動法人わくわくクラブは誕生しました。構成メンバーは、特別支援学校や支援学級に通う子どもたちの保護者と支援学級に勤務していた職員です。

障がい者総合支援法の下で実施されている放課後等デイサービスという事業を中心に平成二十八年八月より加茂市新栄町の理事長、藤田の自宅の一階で事業を行っています。

開始当初、利用者はNPOのメンバー八名でしたが、徐々に増加し、現在では三条市、田上町のお子さんの利用もあり、九名が登録し、利用されています。

夏休みなどの休業中は午前九時から午後三時まで、また授業のある放課後はそれぞれの下校時刻に合わせて学校へ



ふれあい学級  
みんなで楽しく食事会



職員のみなさんと茶話会

### 育成会の理事になって

このたび、新しく加茂市手をつなぐ育成会の理事に就任させていただきました鈴木 利益です。

諸先輩の皆様方の中で大変恐縮しておりますが、長い歴史を刻む同育成会の発展に微力ながら貢献できたと意を新たに理事の職に取り組んでまいります。

さて、近年、国際的な流れに沿って障害者に関連する法が幾々整備されてきており、その一つとして障害者差別解消法が平成28年4月から施行されております。

しかしながら、日常生活の中で法に則した運用や対応が十分になされていないように感じております。障害のある人もない人も、ともに住みやすい社会となるよう、法の目指す差別のない社会の実現が今求められているのではないかと感じております。

まだまだ知識も経験も未熟ですが、本業である司法書士としての知識や経験を活かした提案や行動で皆様のお役に立てるよう、一生懸命頑張りますので何卒ご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

鈴木 利益

### 育成会の監事になって 藤田 明美

お迎えに行き、午後五時三十分までお預かりしています。私たちの願いは、障がいをもって子どもたちも、地域で 遊んだり、いろいろな施設を利用したりして、楽しい放課後、夏休みを過ごしてほしいということです。その願いをかなえるために、公園や近くの施設に遊びに行ったり、体育館や温水プール、カラオケなどを利用したりしています。

また、それぞれの発達課題を保護者と相談しながら設定し、生活場面の中で、楽しく学習を行っています。

放課後等デイサービスは、十八歳までのサービスであり、加茂市には、それ以降のサービスを利用できる施設が少ない現状から、昨年二月に雪椿の舎の皆様主催していただき、市民フォーラムを行いました。二つの法人の関係者以外にも多くの方から参加していただき、とても心強く思いました。私たち当事者が声を上げていくことで、もっともつと市民の皆さんの理解が進むように、今後も働きかけ、加茂市の施設の充実を目指し、微力ながら頑張っていきたいと思っております。

今年度から監事を務めさせていただくことになりました藤田明美です。まだ勉強不足なことが多く先輩監事さんや理事のみなさまに助けられながらですが、与えられた任務を果たしていきたいと思います。

このような形で育成会に関わることができて私が感じるのには、これまでの育成会が築きあげてきたものを大切にしながら未来の育成会を作る一助となれるかもしれないという喜びです。私には下肢肢体不自由児の娘がおります。親からみても羨ましいくらい娘は日々前向きに生きています。今、娘がこのように楽しんで生活を送れるのも、これまで障がい児・者のために尽力されてきた方々の積み重ねがあるからです。育成会の役割も同様ですね。

障がい者福祉の制度は複雑で、変化しています。私はみなさまとともにこれからの育成会に関わり続けたいです。今後ともどうかよろしくお願いいたします。

# 就労継続支援B型



おいしそうなパンの出来上り



電車体験

上手に乗れたかな？



劇団「四季」の公演です

## 雪椿の舎だり



# 生活介護



大きいもがたくさん採れました



運動会

がんばれー！ ひっぱれー！！



廃品回収ががんばっています

## 利用者に関わっての最近の思い

生活支援員 水信 里美

私が雪椿の舎に来て二年半が経ちました。

初めは戸惑う事も多かったのですが、利用者様の優しさ、他の職員の力添えもあり毎日順風満帆で過ごしています。利用者様の毎日の変化、成長を感じつつも、私も日々同じように成長させて頂いていると感じています。以前は、障がいのある方には何でも手を貸すべきと思っていました。が、そうではなく、障がいがあったとしても自身で工夫しながらやり遂げることが、とても大切なだと教えて頂きました。

これからも利用者様・職員と共に成長し、雪椿の舎が障がいのある方にとって更に過ごしやすい場所になる様、努力していきたいと思えます。

### 〈新職員紹介〉

阿部 奈美子さん

一月よりの勤務になります。



## 他の施設での研修の感想

生活支援員 金子 倫子

今回、障害福祉サービス事業所「ほっとサポートしんえい」で一日研修をさせて頂きました。

最も印象に残ったことは、利用者様にストレスを与えない支援や対応がされていた事です。利用者様の特性や利用者様同士の相性を把握し、個別スペースの提供や活動の場を離す等の対応がされていました。利用者様がストレスなく日常生活が送れる環境づくりは、利用者様が穏やかに笑顔で過ごす為に大切なことだと感じました。また、より良い支援をする為に外部研修や施設内研修を定期的実施しているという話をお聞きし、職員全体が同じ目標を持って支援することの大切さを学びました。

今回の研修を通し、利用者様の特性や状態に合わせた支援を提供する上で参考になることが多く、良い研修をさせて頂きました。

### 編集後記

会報「わだち」第五十二号をお届けします。育成会・雪椿の舎の活動、様子をお伝えできました。原稿をお寄せ頂きました皆様、心より感謝申し上げます。